

**第1回犬山市総合計画審議会での委員発言要旨(まとめ)**

第1回犬山市総合計画審議会において、委員のみなさんの発言要旨を下記のとおりまとめました。

キーワード	発言要旨
計画の位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の最上位計画であり、先行している都市計画マスタープランに縛られず議論していく。ただし都市マスの検討内容は非常に重要であり、総計の議論のなかで紹介し、各委員の判断で活かしていく。</li> </ul>
総合戦略との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合戦略の「活躍したいまち」の9の重点事業はこれからの6年間を見たときに非常に重要ではないかと考える。</li> </ul>
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市マス見直し案には賛成。その中にある市民交流拠点と地域生活拠点という言葉、この2つの言葉は中身がとても大事。</li> <li>商業施設を誘致するにしてもどういうものか。今犬山に必要なものは何かということを議論すべき</li> <li>ネットショッピングも普及するなか、どういうものが地域の拠点において必要かをはっきりさせたい</li> <li>都市マスについてはまだ内容は決まっていない。大きな枠としては、コンパクト&amp;ネットワークということで、3つくらいの拠点レベルをつくる案が出ている。大きな拠点は駅周辺や五郎丸の辺りの新拠点。また調区の既存集落は最少の拠点イメージであり、その拠点の範囲をどのくらいにするかを検討中。</li> </ul>
ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>2kmくらいまで進むのにいちばん早いのは自転車。移動手段としてもっと自転車の活用を検討してもよい。</li> </ul>
都市基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者、子育て世代に優しい道づくりを。ベビーカーでの移動に苦勞しない快適な環境になるといい。</li> </ul>

キーワード		発言要旨
地域別まちづくり	城下町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城下町の暮らしの魅力のPRを。京都の町屋などを参考に、ライフスタイルの提案をすると良い</li> <li>・住んでいる人が「守りたい・住みたい」と思い、夢を語れるような町家がいい。</li> <li>・城下町は高齢者が多い。若い子育て世代にPRできるといい。</li> <li>・限定された地域で、ずっと住民がかわらないところに新しい人が入るのは大変なことだと思う。いかにして入りやすくするかを考えるのが課題。</li> </ul>
	市街化調整区域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今井小などに子どもを通わせたい若い親がいるが、住めない、転校できない。</li> <li>・里山の地域に外部から人が移り住むといいが、閉鎖性や法規制が障壁となっている。市として特区などで人を呼び込むことが必要。総合的な交流センター、住宅、学生の寮、などがある総合的な一つの生活空間を作り、人を転入させれば、農業の担い手も現れるのでは。</li> <li>・学校選択の自由化によって町の子が栗栖の学校に通うことなどができるといい。</li> <li>・田畑の問題は全国的に同様。組合や会社で維持することも必要。森林の管理も今後問題になってくるだろう。</li> <li>・鳥獣被害もある。それによる耕作放棄地の拡がりも問題。</li> <li>・規制が多くてなかなか住む場所がないのが課題。地下室で住めるようにすると良い。暮らし方に少し発想を変えてみると良いのではないか。</li> <li>・町でありながら里山や農地が多いという環境をどう維持していくかが課題。立地条件が恵まれていることを活かし、他都市の成功事例を参考に。</li> </ul>

キーワード		発言要旨
多様な主体の参加・連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉は共助により成り立っており、そのためにはいろんな人がいないと成り立たない。バラエティに富んでいた方がいい。多様性のあるまち、そういった人が住むまちいい街である。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりは「多様性」に尽きる。皆違う。全部は満たせないなので、お互いを補完する何かが必要。一見反対に見える者同士の相互補完がまちを元気にする。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生、大学生と高齢者をつなぐ何かが必要。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的な援助ではなく、地域の高齢者が子育て世代を気軽に助けられる雰囲気があるといい。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO、ボランティア活動に興味があっても参加機会が乏しい。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工業誘致・工業誘致の時代ではなく、住民のアイデアの出し合いによる地域活性化が重要。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりは誰がやるかがとても重要。市民が自分の関心の高い問題に自ら関わり課題解決することが大切であり、そうしたことができる仕組みづくりが重要。</li> </ul>
主体別の課題	女性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20代の女性の流出が課題であるなら、若い女性が結婚して住み、買い物して、という流れが見えてくると犬山が身近な場所になるのではないかな。</li> </ul>
	子育て世代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の総計では子育てのしやすさを考えることが重要。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療費が中学まで無料で、今の子育て世代はうらやましいと感じる。保育料や医療費が無料になれば、他市町から羨ましがられるのではないかな。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童センターのトイレなど、子育て支援施設の老朽化を感じる。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・理想的で夢のようだが、保育士増員にお金をかけるよりも、休業して子育てに専念できる支援があるとよいのではと思う。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・待機児童対策の保育所拡充のみでなくもっといろいろな選択肢を。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校内に児童クラブができたのは成果。</li> </ul>

キーワード		発言要旨
主体別の課題	若い世代	・大学生が卒業後に地域に残らないのが問題。犬山の企業が社会的事業体を応援し、若者が活躍できる場の魅力を見せるべき。「活躍したいまち」が特に大事。
		・犬山の魅力を自分の口で語れるような若者を作っていくことが大切ではないか。
		・若い世代などが協力して「暮らしたい・活躍したい・訪れたい」というキーワードをどう実現していくか。
		・子どもももっとまちづくりに主体的に参加していい。
	高齢世代	・高齢者の対応が重要。
交流		<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流人口の視点として外部から人を呼び寄せるとというのが総合戦略の要点。</li> <li>・犬山に来てくれた人と、一過性ではなく本当の意味で交流していく必要がある。</li> <li>・交流の究極のゴールは定住である。そこまでして初めて地域も受け入れる。</li> </ul>
計画のまとめかた（施策の優先度等）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・有効で魅力ある施策をまず列挙してから優先順位を考えて。財政の制約ありきではいい事業を見失ってしまう。</li> <li>・得意分野に特化した絞り込みを。</li> <li>・総合計画をもうちょっと現実的な方に寄せていきたいと思う。もう少し市民の方にも分かりやすくするにはどうしたらいいのか、を考えていきたい。</li> <li>・これまで議会で総計の見直しをする中で検討すると言ってきたものをしっかりこの会議で議論し、答えを出していく必要があると考えている。</li> <li>・現在の総計に掲載されていなくて、議会で検討すると言っているものは商業施設の誘致、道の駅の整備、五郎丸駅、塔野地総合グラウンド。反対に掲載されているが、実施していないものは福祉会館の移転。こうしたものをやるのか、やらないのかということを決めていく必要がある。</li> <li>・総合計画のざっくりとしたビジョン策定というよりは、具体的にやる事業、やらない事業というものをしっかり導きだすべき。</li> </ul>

キーワード	発言要旨
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対外的な広報活動がうたわれていない。犬山は良いところが多く可能性を持っているが、上手く外に伝わっていないと感じる。外から「いいね」と言われれば市民も誇りに感じ、頑張ろうと思えるのではないかな。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外に向かってどういう犬山を発信していくべきか、対外的な声の出しかたを考えるべき。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 犬山市自体が周辺の市区町村と比較しどのような位置付けにあるかを自ら認識することが大切。どこに特異性があり、どこに優位性があるかを認識することで伸ばすところ、強みを把握できる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 犬山の資源を見極め、磨きながらそれを売っていくことが必要。ブランドとして確立し、ITなどを用いて発信するコンテンツを固めるべき。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 犬山のよさが対外的に情報を発信できていないと思う。ITもそこに関わってくる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 諸々の施策にICT技術の活用を。</li> </ul>
犬山の特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市外に住んでいるが、犬山は自然も豊か、歴史もあるのに活かされていないと感じる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市外の人に犬山のことを褒められたり、うらやましがられたりすると嬉しい。日々の生活の不満というより、もっとほめられるようになれば、という思いがある。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 犬山に住んでいる人が犬山の便利さ、宝をまだまだ知らないのではないかと思う。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 犬山は非常に歴史文化財が多い。そういったものを有効に活かせるような計画になるとよいと思う。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業従事者はほとんどが老人。農地がどんどん遊休地化されているという実態がある。全国的な問題だが、農業の活動を何とかして活かせるようなそういう仕組みを計画の中で考えられたらと思う。</li> </ul>